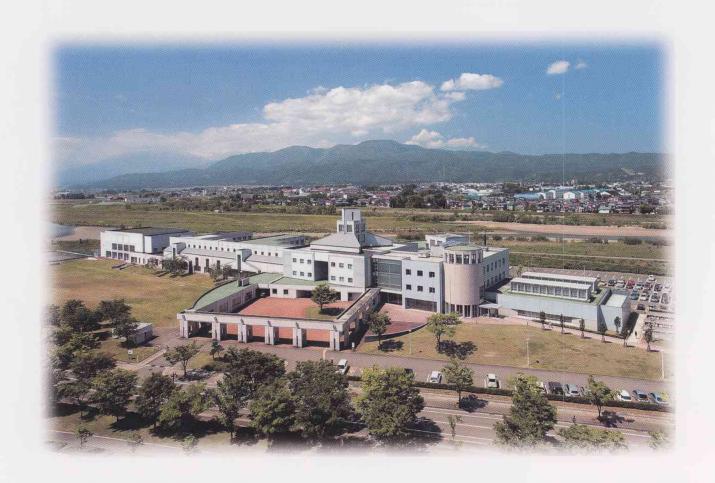
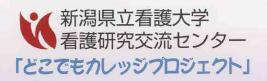
平成19年度文部科学省「社会人学び直しニーズ対応教育推進プログラム」

-看護師の学び直しを支援する 地域指向型オープン/バーチャル・カレッジの試み-

## 「看護師の学び直しを支援する学習プログラム」

平成20年度~平成21年度





## プログラムの概要

平成19年秋、文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に本学の-看護師の学び直しを支援する地域指向型オープン/バーチャル・カレッジの試みーが採択されました。これを受け大学では「どこでもカレッジプロジェクト」を立ち上げ、看護師の方々が場所を選ばずに自由に学びなおすことのできる学習プログラムを用意しました。

#### 1. 目的 Purpose

このプログラムは、子育てなど様々な事情により第一線から離れている看護職の「学び直し」の場を提供し、 再び臨床現場へと戻れるよう支援することを大きな柱としています。また、学び直しの観点から、最新医療や 看護に関して学びたいニーズを持っておられる現役の看護職にも門戸を開いて支援します。

#### 2. 特 色 Remarkable Items

本プログラムの特色は、公開講座や公開授業に参加して学ぶ「オープン・カレッジ」に加え、受講者の方々の学びの場を限定せず、自宅や職場での遠隔受講や視聴覚教材による自己学習を可能としている点にあります。インターネットを利用した「バーチャル・カレッジ」では、ネットコミュニケーションシステムを活用することによりプログラム担当者からのフィードバックを適宜受けながらインタラクティブな学習ができるよう考えられています、ネット環境さえあればどこでも繰り返し学ぶことができ、自己のペースで"やりたいときに"学習することができます。

さらに実習病院との提携により実践現場での業務研修も提供しています。

#### 3. 学習方法 Study methods

オープン・カレッジは大学や病院など施設に赴いて学習することをいいます。

公開講座に出席(看護研究交流センター「生涯学習・研修支援事業」と共同開催)する、大学の授業を聴講する、 図書館やパソコン、実習室など大学の施設を利用する、病院実習などで学びます。

バーチャル・カレッジは自宅や職場などで自由に学習することをいいます。

インターネットを利用したVTR学習(大学授業、公開講座などのVTR)や視聴覚教材による自己学習、ネットを介した質疑応答、レポート提出などで学びます。

#### 4. ドコカレメイト Dokokare Mate

「ドコカレ」とはプロジェクトの略称です。メイトは仲間を意味する「mate」からきています。 このプログラムで一定の要件を満たして学習し、最終試験に合格した人には大学から修了認定証が授与されます。これは看護師として職場復帰するための知識、技術習得などの準備ができたことを保証するものです。コース受講者をメイトAとよび、募集人数は10名程度です。

また、要件に関係なく自分の学習したい科目を自由に選んで学習したいメイトさん(メイトB)も募集しています。こちらは自分に必要なだけ学びたい方、現役の方にお勧めする方法で試験はなく、学習した科目の認定書を発行します。詳しくはホームページをご参照ください。

以下は学習概要のステップ図とオープン・カレッジで提供しているプログラム内容です。

## 学習の概要とステップ図

期 間:平成20年8月~平成21年8月

場所:自宅、新潟県立看護大学、新潟県立看護大学看護研究交流センター、新潟県立中央病院



メイトA: コース受講者 メイトB: 科目受講者

☆オープン・カレッジ (大学等施設で受講) ☆ バーチャル・カレッジ (自宅でインターネット利用) 講 義演 習 病院実習

講義VTR 教材視聴



-

STEP4

★コース修了、科目認定



STEP5

★コース修了認定証発行

#### ☆ コース修了認定要件:

講義15科目中7科目以上を選択し受講。かつ、演習4科目中2科目以上選択し、実習は必修とする。 合計10科目以上を受講し試験に合格することを要件とする。 (※メイトBを選択した場合はこれに該当しない)

☆ STEP4で認定されたメイトAには修了認定証を発行 科目単位で学習したメイトBには科目認定証として発行

# オープン・カレッジ学習プログラム

## 【本学教育科目より】

■講義 ●演習 ▲実習

科目	対象·時期	内 容		
■臨床病理学Ⅰ	(1年生後期)	生命維持機能の障害、運動機能の障害など		
■臨床病理学Ⅱ	(2年生前期)	脳・神経機能障害、栄養の摂取・吸収障害など		
●基礎看護技術演習Ⅰ	(1年生後期)	日常生活援助技術(体位変換、移動、無菌操作法、手洗い、浣腸、導尿など)		
●基礎看護技術演習Ⅱ	(2年生前期)	診療の補助技術(吸入・吸引、採血、筋肉内注射、フィジカルアセスメント)		
●成人看護学演習	(3年生前期)	血糖測定、救急蘇生、手術後患者の移動技術 COPD患者の在宅での指導など		

## 【公開講座等】

項目	担当講師	所 属	時間	開講時期
■ドコカレ操作入門 -自宅でできるオープンキャンパス-	橋本 明浩	新潟県立看護大学	3h	7/26(土)
■医療事故と医療安全管理	稲葉 一人	中京大学法科大学院	6 h	8/6(水)
■医療事故をめぐる新しい試み	稲葉 一人	中永八子広村八子院		
■看護と栄養管理	梶井 文子	聖路加看護大学	3 h	8/30(土)
■看護師の臨床の『知』と、看護師 が経験を積むことの意味	佐藤 紀子	東京女子医科大学	3h	9/20(土)
■感染制御に関する新しい動き	大久保 憲	東京医療保健大学	3h	10/4(土)
■看護と口腔ケア	柿木 保明	九州歯科大学	3h	11/29(土)
●高齢者の口腔ケア技術演習	原 等子	新潟県立看護大学	3h	11/30(日)
■最新の糖尿病ケア	大塚 綾子	新潟県立看護大学	3h	(21年度)
■最新の皮膚・排泄ケア	田中 純子	聖路加国際病院	3h	(21年度)
■最新の薬剤適用と管理	山口 正俊	新潟県立中央病院	3h	(21年度)
■最新の経管栄養・ 胃ろう患者ケア	中央病院 看護師(未定)	新潟県立中央病院	3h	(21年度)
■医療をめぐる変化と看護の動向	武田みゆき	新潟県立中央病院	3h	(21年度)
■人とのコミュニケーション	粟生田友子	新潟県立看護大学	3 h	(21年度)

### 【施設実習】

項目	施 設	時 間	開講時期	内 容
▲業務研修	県立中央病院 病棟	2日間	21年6月	看護師について見学及び 看護技術体験実習 (電子カルテシステム見学を含む)

## 受講登録について

#### 対象:

次の2つの条件にあてはまる方を対象にします。条件に当てはまる方であれば誰でも参加できます。現職の方も含みますが、メイトA:コース受講者は10名程度で、原則として①および②に該当する方です。メイトBの場合は人数制限を特に設けていません。ただしオープン・カレッジの受講には人数制限がある場合があります。詳しくは科目登録時にお知らせします。

- 1) 看護師の免許を持っている方
- 2) 次のようなニーズを持っている方
  - ①現在就業してないが免許を生かして仕事を始める準備をしたい方
  - ②長期間の育児休暇をとって職場復帰する予定の方
  - ③最新の医療や看護について学びたい方

#### 登録手続き:

7月初めより先着順に受け付けます。参加申込書に必要事項を記入し、最後のページに記載のあるドコカレ事務局に提出します。提出する方法はホームページからWEB登録するか、事務局宛に郵送、ファックス、持参での申し込みとします。ご不明な点はお問い合わせください。

#### 受講についての支援および費用:

受講料は無料です。また受講に関してはガイドチューター(プロジェクトの教員メンバー)がご相談に応じます。受講科目の選択、科目の変更、受講方法に関すること、受講中のさまざまな支 援などを行います。



## アクセス

公共交通機関 JR高田駅、直江津駅から中央病院方面行きのバスで中央病院バス停の一つ手前 「看護大学前」下車

自 動 車 国道8号線、北陸自動車道から国道18号バイパスで鴨島I.Cを降りて中央橋の 手前信号を左折



## 問い合わせ先

〒943-0147 新潟県上越市新南町240番地 新潟県立看護大学

電話: 025-526-2822 (直通・FAX兼) 木村電話: 025-526-2811 (代表) 内線131岡沢 Eメール: dokokare@niigata-cn.ac.jp

ホームページ: http://dokokare.nirin.jp/